

令和2年度第3回フォローアップ委員会におけるご意見への対応状況について

参考1

令和3年6月22日

第1回産業振興計画フォローアップ委員会

令和3年6月22日

| | 項目 | 概要 | 基本的な考え方・対応策(案) |
|---|--------|---|---|
| 1 | 事業実施時期 | <p>○ コロナ禍により、事業の実施時期については、感染拡大が想定される冬期を避けて行うことも考えておかないといけない。</p> <p>○ 通年でできるもの、夏期に対面でできるもの、冬期に非対面でできるものといった形で検討する必要があるのではないか。</p> | <p>・感染拡大を防止するためにも、WEB開催や冬期を避けた開催など、適切な方法を検討したうえで、各種取り組みを進めていく。</p> |
| 2 | 価値観の変化 | <p>○ 世の中の価値観が変わってきたこと受け、取り組みをスピードアップしたらいいものと、緩めたほうがいいものとある。</p> <p>○ 価値観の変化により、高知のよさが際立ってくるものもある。</p> | <p>・新型コロナウイルスの感染拡大を契機とした社会・経済構造の変化を意識し、取り組みを進めていく。</p> <p>・そうしたことを意識して、「デジタル化の促進」や、「地方への新しいひとの流れの創出」に向けた取り組みを強化していく。</p> <p>・また、これまで対面で行ってきた商談会などでオンラインを活用することや、消費者行動の変化により伸長が見込まれる通販業界へのアプローチの強化など、ウィズコロナ、アフターコロナに対応した取り組みを進めていく。</p> <p>・さらに全国的にニーズが高まっている「自然体験型観光の促進」や、「都会から地方への新しいひとの流れを呼び込む移住促進策」等の取り組みを進め、高知ならではのよさをアピールしていく。</p> |
| 3 | 移住施策 | <p>○ ワイドショーで、コロナ対策として「太陽に1時間以上浴びたらいい」という話が出ている。</p> <p>○ 高知県は日照時間が長いことについて、対外的に打ち出しができるワーディングを考えてみたい。</p> | <p>・高知の強みをしっかり言葉で届けていくことは非常に重要であり、積極的に発信していく。</p> <p>・移住ガイドブックでは、本県の日照時間が長いことなどをデータでお伝えしているが、さらに発信の方法等を工夫していきたい。</p> |
| 4 | コロナ対策 | <p>○ コロナにおびえすぎる必要はない。いいシナリオを描きながら、取り組みを進めてほしい。</p> | <p>・現在は感染拡大防止といった守りの施策に軸足を置いているが、第4期計画ver.2では、ウィズコロナ・アフターコロナを意識し、「新しい生活様式や社会・経済構造の変化への対応」や「地方へ新しいひとの流れを呼び込むための取り組み」など、将来を見据えた攻めの施策を強化していく。</p> |

| | 項目 | 概要 | 基本的な考え方・対応策(案) |
|---|--------|---|--|
| 5 | SDGs | <p>○ 企業は、SDGsを意識して取り組まないと置いていかれる状況にあり、上場企業は血眼で取り組んでいる。</p> <p>○ 本県は、林業という強みがあるので、SDGsの取り組みとして発信していったらいいのではないかな。</p> | <p>・令和3年度からの第4期計画ver.2においては、これまでの経済面の取り組みだけでなく、環境面からの視点も取り入れ、「持続可能な地域社会づくりに向け、脱炭素化・SDGsを目指した取り組みを促進」することを強化ポイントとして位置付け、林業振興を通じた森林吸収源対策など、本県の強みを生かした取り組みを進めていく。</p> |
| 6 | 観光施策 | <p>○ 山梨県は、コロナ対策として、安心・信頼を担保する仕組みを作っている。本県でも検討してはどうか。</p> | <p><飲食店></p> <p>・令和3年4月末に国から飲食店における感染防止対策を徹底するための第三者認証制度の導入にかかる「感染対策に係る認証の基準(案)」が示された。</p> <p>・他県で成果を上げている第三者認証制度を導入し感染対策を徹底していくことは、感染拡大防止の更なる強化につながると判断し、「高知家あんしん会食推進の店認証制度」を創設し、6月議会で提案する予定。</p> <p>・あわせて、「高知家あんしん会食推進の店認証制度」の認証を受けた飲食店等に対し、感染対策の応援金として一律10万円を交付することも予定している。</p> <p><宿泊施設></p> <p>・本県の宿泊事業者は、業界の示した新型コロナウイルス対応ガイドラインの遵守はもとより、独自に策定した「おもてなし八策」などにより利用者への感染防止の注意喚起を行っている。また、県としても「おもてなし旅館ホテル等環境整備緊急支援事業」などを通じて、宿泊施設の感染症対策の強化を支援している。</p> <p>・県による認証制度については、飲食業を対象に認証制度を設ける予定であり、宿泊施設においても飲食に関する施設・エリアをその対象とすることとしたい。</p> |
| 7 | 中小企業支援 | <p>○ 県内の中小企業は、研究開発できる余力が少ないため、そこに手を差し伸べてほしい。</p> | <p>・公設試験研究機関において、企業との共同研究、依頼試験対応やアドバイザー派遣をはじめとした技術支援を行うとともに、各種研修や研究会・分科会の開催を通じて、研究開発の推進につながる専門性の高い人材を育成している。</p> <p>・また、産業振興センターで実施している「事業戦略等推進事業費補助金」に、新製品・技術開発や人材確保等の様々な補助メニュー(補助率1/2、上限200~1,000万)を設けて、県内企業の研究開発等を支援している。(R3予算額123,100千円)</p> <p>・なお、これらの取り組みについては、多くの企業に活用いただけるよう、今後も引き続き、HPや広報媒体等を通じて広報を実施していく。</p> |

| | 項目 | 概要 | 基本的な考え方・対応策(案) |
|----|---------------|---|---|
| 8 | スポーツ | ○ 高知ユナイテッドSCは経済的に厳しいので、J3を目指すためにも県を挙げて応援してほしい。 | <ul style="list-style-type: none"> ・現行、県として練習着への「リョーマの休日」ワッペン協賛、練習会場の確保・整備、広報への支援及び、昨年度の県外からの誘客施策に引き続き、今年度はPRの強化など県内外の観客動員数の増加を図るための事業を同クラブへ委託している。 ・J3への見通しが付く段階で、他県の事例も参考にしながら、更なる支援について検討していく予定。 |
| 9 | 農業 | ○ シシトウなどの業務需要の大きい作物は、コロナにより影響を受けている。産地の維持のためにも、県からの支援をお願いしたい。 | <ul style="list-style-type: none"> ・コロナで影響を受けている園芸品について、高知県園芸品販売拡大協議会において、量販店でのフェアや花きの展示PRなど、県内外で消費拡大に取り組んでおり、今後も取り組みを継続していく。 |
| 10 | デジタル化 SDGs | <ul style="list-style-type: none"> ○ 目指すべき社会は、未来からフィードバックして、考えていかなないといけない。 ○ 本県の企業の99.9%は中小企業なので、それぞれの規模、体制、組織に合わせて、きめ細かく対応する必要がある。 | <ul style="list-style-type: none"> <デジタル化> ・令和3年度から、産業振興センターに「デジタル化推進部」を新設し、県内の中小企業や小規模事業者のデジタル技術の活用に対する支援体制を強化。商工会議所などの関係機関と連携しながら、デジタル技術活用の観点から、各企業の現状や目指す姿など、状況に応じた支援を実施。 <SDGs> ・県内事業者のSDGsを意識した取り組みを促進するため、「SDGs推進アドバイザー」の派遣を行うなど、事業者の規模や体制、組織に合わせて、きめ細かく対応していく。 |
| 11 | SDGs | <ul style="list-style-type: none"> ○ SDGsが何か分からない企業も多いので、SDGsはビジネスチャンスになるということを発信してほしい。 ○ 17の目標から関連性を見つけてもらって、新規事業につなげるなど、前向きに捉えてほしい。 | <ul style="list-style-type: none"> ・SDGs推進セミナーの開催などを通じ、SDGsの概要や、県内事業者によるSDGsの優良事例の周知を図ることで、SDGsを意識した取り組みが、大きなビジネスチャンスになるということを発信していく。そのための登録制度もスタートさせる。 ・事業戦略等の策定・実行支援を通じて、SDGsの視点を生かすことを促すほか、事業者に対してアドバイザーを派遣し、企業活動と17の目標のひも付けや、打ち出しなどを支援することで、新規事業の展開などにもつなげていく。 |